

議員定数削減条例案（20人定数案）否決さる

/ 同じく2008/9月議会より

議員定数は何人が適当か？

島原・有明は編入合併で、在任特例を採ったため、条例定数は旧島原市の23人のまま、当時の現職島原23人に有明の現職14人が（報酬額は旧町のまま）合流し、37人の議会となった。

しばらくして、旧町議の報酬額を島原市議に合わせて引き上げた。雲仙市・南島原市が自治法上限数30人なので、島原も次の選挙は30人に落ち着くのではとの予測も立ち、議員ばかり良すぎるのでは、との反発もあって、住民直接請求の議員20人定数案が提出された。20人案は否決されたが、結果、条例数23人は増員されることなく、そのままとなった。

議会は住民の声を聞かなかったとあくまで20人を主張する者、23人に留めたので良しとする者、（一部）もっと増員すべき……と言う者。

2007年5月の市議選は「20人」かどうかが大きな争点になり、市民団体はアンケートまで実施した。（右表参照）

この表に拠れば、20人定数は可決するはずである。新しい定数は次の通常選挙2011年から効力がある。

新人議員の中に「色々話を聞くと、20人は違うような気がする。」など怪しげなことを言い出す者が出てきた。ぐずぐずしてはいられない。市民の記憶の

新しいうちにと、松井議員・清水議員の同意を得て「20人定数案」を提出した。

合言葉は「時期尚早」？！

先ず総務委員会。敬称略。

賛成は、清水・松坂の2人のみ。林田・山本・中川・馬場・北浦の5人が反対。この時点で、どちらかと言うと削減に肯定的だったと思われる林田・山本・中川の3氏が「時期尚早」として賛否を保留する形で否決に回った。「ここで20を可決すれば、18や15に削減できる可能性の芽を摘む」という反対討論まで飛び出した。

本会議においても、削減には賛成だが、報酬や政務調査費の問題なども合わせて考えるべきだとか何とか、申し合わせたように「時期尚早」の屁理屈を付けての反対多数。4対17であっさり否決。賛成4人は清水・松井・園田・松坂でした。

古川議員は辞職で参加せず。

議員定数に付いては12月議会で新たな展開がある。

順不同

北浦	守金	自
島内	俊光	無
濱崎	清志	無
本田	順也	無
馬場	勝郎	自
大場	博文	自
古川隆三郎		無
種村	繁徳	無
馬渡	光春	無
松井	大助	無
山下	博正	無
松坂	昌應	無
園田	智也	無
中川	忠則	無
松本	匠	社
島田	一徳	共
永尾	邦忠	公新
永田	光臣	無新
山本	由夫	無新
酒井美代子		無新
本多	秀樹	無新
林田	勉	無新
清水	宏	無新

は20人案に反対（議会）
は20人案に賛成
は市民団体に問われて
20人案を支持。
は公約で明言。
回答せず。

諫早湾排水門を開け！ もう一つの9月議会

漁民の切実な願い＝潮受け堤防の開門請願。紹介議員として賛成討論。6.27裁判所の判決に沿った当然の常識請願であったが、不採択となってしまった。悔しい。

佐賀・熊本・福岡の各自治体は県も市も、この趣旨の請願は自公も含めて全会一致で通過しているというのに。

賛成に起立したのは、島田・松本・清水・園田・林田・そして松坂の6人だった。